

授業科目 レクリエーション活動援助法

【担当教員名】 佐藤ユリ子	対象学年	1	対象学科	社会（介護）
	開講時期	後期	必修・選択	介護福祉コース必修選択
	単位数	2	時間数	60（うち30時間）

【<概要>又は<一般目標：GIO>】

レクリエーション活動の社会的意義と援助活動の実践的能力の向上を目指す。
レクリエーション活動を通して、高齢者・障がい者の活動支援について理解を深める。

【<学習目標>又は<行動目標：SBO>】

- 1 レクリエーション活動の社会的意義を理解する。
- 2 レクリエーション活動の援助者としての役割について理解する。
- 3 レクリエーション計画の作成能力を習得・向上させる。
- 4 レクリエーション活動の実践援助能力を習得・向上させる。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	コミュニケーション・ワーク 人間交流	4	演習 グループ討議
2	コミュニケーション・ワークの実際	4	演習 グループ討議
3	コミュニケーション・ワークの転開放	4	演習 グループ討議
4	コミュニケーション・ワークの観察法	4	演習 グループ討議
5	レクリエーション計画の作成と実行	3	理論と演習 グループ討議
6	グループ別計画の方法と実際	3	理論と演習 グループ討議
7	レクリエーション援助の実施	3	演習
8	レクリエーション援助の記録・評価	3	理論と演習
9	援助のための組織・環境の形成	4	理論
10	楽しく安全なレクリエーションの実現	4	理論
11	レクリエーション援助者の役割	4	理論
12	治療的意味合いを含めたレクリエーション	4	理論
13	治療的意味合いを含めたレクリエーション援助の実際	4	理論
14	レクリエーション財とその展開	4	理論
15	試験		

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書 (必ず購入する書籍)	新版介護福祉士養成講座6第2版「レクリエーション活動援助法」 中央法規			
参考書				
その他の資料	演習用の教材として。マジック、水彩絵の具、筆、大洋紙、色画用紙、クレヨン、色隠避津、ボンド 載り、折り紙、ポストイット、紙粘土、はさみ、習字紙、CD			
【評価方法】 出席、授業態度、期末試験、レポート	【履修上の留意点】 ・グループ討議では、積極的に発言をする。 ・演習で体験したレク財の活用など、対象者に応じた応用が工夫できるよう学習する。			